

## 市長メッセージNo.61

### 2月5日まで、福島県医療ひっ迫警報が延長

～インフルエンザが流行期突入、新型コロナとの同時流行に警戒を！～

#### 【感染再拡大と県医療ひっ迫警報延長】

15日までと設定されていた福島県医療ひっ迫警報が2月5日まで延長されました。(別紙1参照)

本市における新型コロナの感染状況については、過去最高のクラスターが発生した先月に引き続き、1月に入ってからも連日、高齢者施設や医療機関でクラスターが発生するなど、高い水準での感染拡大が続いています。

県内では、年明け以降、感染再拡大の傾向が顕著であり、病床使用率は上昇、救急搬送困難事案や感染後お亡くなりになる方も増加しています。加えて、インフルエンザも3年ぶりに流行期に突入し、新型コロナとの同時流行のリスクが高まっています。

こうした状況から、県医療ひっ迫警報が延長になっており、市民の皆さまには、感染拡大防止の徹底にご協力をお願いします。

当面、特に重要なことは、受験期を迎える中、新型コロナとインフルエンザの同時流行に対する警戒強化です。【新型コロナ、インフルエンザの感染防止対策】(以下【対策】と略します。)の中でも、次の点にご留意ください。

- I 基本的な感染防止対策を徹底してください ⇒【対策】1. を参照
  - ・受験生や重症化リスクの高い方(高齢者など)はもちろん、これらと接する方も、できる限りの感染防止対策をお願いします。
- II 予防対策としてのワクチン接種のご検討を！ ⇒【対策】4. を参照
  - ・新型コロナワクチン～受験生・働く世代にも受けやすい機会～NCV アリーナでの夜間接種、街なか交流館での夕方夜間帯の予約不要接種
  - ・インフルエンザワクチン～こども(18歳以下)・妊婦・高齢者への助成は1月末まで
- III 医療機関に過度な負担をかけないための備え、適正利用をお願いします
  - ・急な体調不良に備えた必需品の用意～【対策】2. を参照
  - ・症状や重症化リスクに応じた検査・医療の適正利用～【対策】3. を参照

#### 【新型コロナ、インフルエンザの感染防止対策】

1. 室内でのマスク着用や十分な換気、会食での十分な感染防止対策など、基本的な感染防止対策を徹底してください。

別紙2「自分が感染しない、他人にうつさない～3つのお願い～」参照

別紙3「市内でインフルエンザが流行開始！基本的対策の再徹底！」参照

2. 急な体調不良に備え必需品の用意をお願いします。

- ・解熱鎮痛薬やせき止め
- ・抗原検査キット(体外診断用医薬品又は第一類医薬品を推奨)
- ・体温計
- ・食料、日用品 など

### 3. 症状や重症化リスクに応じた検査・医療の適正利用をお願いします。

⇒ [別紙4](#)「医療現場のひっ迫を防ぐため、重症化リスクに応じた外来受診・療養にご協力ください」参照

#### (1) 発熱など症状が出た場合

##### ①重症化リスクが高い方、比較的症状の重い方

電話連絡の上、かかりつけ医等で受診し、検査・診療を受けてください。通常診療時間での受診をお願いします。

##### ②重症化リスクが低い方で、軽症者

- ・抗原検査キットを活用し、自己チェックを願います。
- ・手元に抗原検査キットがない方は、「福島県新型コロナ検査キット配布センター」に WEB(24時間) 又は電話(0120-941-546 毎日9時～19時)でお申し込みください。
- ・陽性の場合は「県陽性者登録センター」へ登録し、自宅療養にご協力をお願いします。
- ・陰性で、インフルエンザ等の疑いで受診を希望される場合は、電話連絡の上、医療機関で受診してください。

##### ③夜間・休日診療や救急車の適正利用のお願い ⇒ [別紙5](#)「救急車・救急外来の適正利用にご協力を！」

参照

- ・緊急性の低い方の夜間・休日の受診や救急車の利用はお控えください。
- ・夜間に受診するか迷ったら、「夜間救急電話相談#7799」や「こども救急ダイヤル#8000」をご利用ください。
- ・夜間の受診を必要とする緊急性の高い方は、「福島市夜間急病診療所」か「ファストドクターふくしま」をご利用ください。  
「ファストドクターふくしま」は、看護師の自宅訪問と医師のオンライン診療を組み合わせた民間サービスです。

#### (2) 症状はないが感染に不安がある場合

薬局等の無料検査又は市保健福祉センター北側駐車場での日無料検査場をご活用ください。

### 4. 早めのワクチン接種をご検討ください。

#### ①オミクロン株対応ワクチンの接種

新型コロナワクチンを2回以上完了した12歳以上の方は、オミクロン株対応ワクチンの接種が可能です。次のように働く世代や受験を迎える方にも受けやすい機会を設けていますので、ご利用ください。

- ・NCVアリーナでの夜間接種、日中時間帯の予約不要接種(1月18日以降)
- ・街なか交流館での夕方夜間帯の予約不要接種～2月中の水・金 午後4時15分～6時45分

\*アレルギーなどで mRNA ワクチン以外の接種を希望する方は、武田社ワクチン(ノババックス)の接種を実施していますので接種をご検討ください。

#### ②生後6か月以上～11歳の方の新型コロナワクチン接種は、1月の予約受付を行っています。

#### ③子ども・妊婦、高齢者のインフルエンザワクチン接種への助成は、1月末までです。同時流行を避けるためにも、接種をご検討ください。

令和5年1月13日

福島市長 木幡 浩



# 福島県医療ひっ迫警報

令和4年12月16日(金)~令和5年2月5日(日)

## 医療機関の負荷を減らす

- ・ 外来診療への集中を防ぐため、検査キットによるセルフチェックの積極的活用
- ・ 緊急性の高い方の命を守るため、救急外来・救急車の適正利用
- ・ 体調不良に備えて、検査キットや解熱鎮痛薬等の事前購入

## 感染者を減らす

- ・ オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種
- ・ 症状のある方の家族や接触した方は、自分自身に症状がなくても慎重に行動
- ・ 大人数・長時間の会食への参加を慎重に判断（自宅等での会食にも注意）

警戒を緩めることなく感染防止対策をしっかりと行って、  
活動との両立を図りましょう!!

## 「自分が感染しない、他人にうつさない」~3つのお願い

- ① 休憩、会食時など気持ちが緩む場面でも、会話時のマスク着用や換気をお忘れなく！人と人との距離に十分注意し、密をつくらないようにしましょう。
- ② のど、咳、熱など体調に異変を感じたら外出を控えて下さい。症状等に応じ、検査・医療を適切に利用し、早期確認を！
  - ・ 無症状 → 薬局等での無料検査
  - ・ 軽症で重症化リスクの低い方 → 抗原検査キットの配布
  - ・ 軽症でも高齢者・基礎疾患のある方、妊婦、就学前のこどもなど、重症化 → 医療機関に連絡・受診
  - ・ リスクが高い方、症状が比較的重い方
- ③ 身近に体調の悪い人がいたら注意信号！  
受診・検査を勧めるとともに、いつもより感染防止を強化し、警戒を強めてください。

# 市内でインフルエンザが流行開始！ 基本的対策の再徹底！

別紙3

## マスク



場面に応じて正しく着用！

## 手洗い 手指消毒

こまめに！



## 換気



寒いときは  
暖かい服装で

常時換気、  
2方向の窓開け換気など

適度な加湿も忘れずに！  
(50~60%)

3つの対策 + ワクチンで同時に防ぐ！



## 医療現場のひっ迫を防ぐため、

別紙4

## 重症化リスクに応じた外来受診・療養にご協力ください

新型コロナウイルスの拡大に加え、市内でもインフルエンザが発生し、流行時期に入っています。  
症状があらわれたら、重症化リスクが高い方は、すみやかにかかりつけ医等で受診してください。  
リスクが低い方は、まずは「抗原検査キットでの自己検査」と、陽性の場合は「県陽性者登録センターへ登録し自宅療養」にご協力をお願いします。(陰性で受診を希望する場合は、医療機関での受診をご検討ください)

### 重症化リスクの高い方、症状が比較的重い方

65歳以上の方    基礎疾患がある方    妊婦    就学前の子ども など

電話連絡の上、すみやかに受診

かかりつけ医／診療・検査医療機関



### 重症化リスクの低い方で、軽症者

左記以外の方

まずは！  
コロナ検査キットでの自己検査

新型コロナ陰性    新型コロナ陽性

医療機関受診

県陽性者登録センターへ登録、自宅療養

TEL 0120-670-050 (午前9時～午後6時)  
【陽性者登録後の相談窓口】  
県フォローアップセンター  
TEL 0120-897-089 (24時間対応)

療養

・有症状者や濃厚接触者は、県新型コロナ検査キット配布センターへ WEB(24時間) TEL 0120-941-546(午前9時～午後7時)※土日祝日も対応  
・感染に不安を感じ無症状の方は、薬局等の無料検査へ (市HP新型コロナウイルス感染症関連情報→無料検査をご参照ください)

コロナ・インフル  
同時流行！

## 救急車・救急外来の適正利用にご協力を！

別紙5

インフルエンザが流行が始まり、コロナとの同時流行により、医療体制の負荷が高まっています。  
救急外来や休日・夜間診療は避け、**通常の診療時間内**に受診しましょう！

### 夜間や休日に受診を迷ったら…

夜間救急相談 #7799 (毎日19時～翌朝8時)

夜間に急な病気やけがをした際、応急手当の方法、受診や救急車要請の必要性に対して専門家による助言が受けられます。



こども救急ダイヤル #8000 (毎日19時～翌朝8時)

夜間に子どもの身体の具合が急に悪くなった際、家庭で可能な対処法などのアドバイスや受診可能な医療機関を案内します。



### 夜間に受診が必要な時は…

福島市夜間急病診療所 (Tel.024-525-7672 毎日18時30分～翌朝7時) ※詳しくは市HPで

夜間に手術等を要しない急病患者へ応急的な診療を行います。発熱症状がある場合は、事前に電話連絡をお願いします。



R4.9月からスタートした  
民間サービス

詳しくはこちら

ファストドクターふくしま (月～金 19時～23時 土 18時～23時 日・祝12時～23時)

看護師が自宅訪問し、医師とのオンライン診療を行います。医師が必要と判断した場合、検査やお薬のお届けも可能です。

